

5. 紅葉

秋になると、木の葉が緑から紅や黄に変わって、野山を美しくいろどる。葉の色が、このように変わることを、紅葉という。

紅葉は、秋だけでなく、春になって木の芽がのび、新しい葉が開いたばかりの時も紅葉するのです。ですから、紅葉は、春と秋二回起こるのです。

●黄色く紅葉するもの

イチョウ・カツラ・イタヤカエデなど。

●紅色く紅葉するもの

カキ・ツタ・ヌルデ・カエデ・ニシキギ・ウルシ・ドウダンツツジなど。



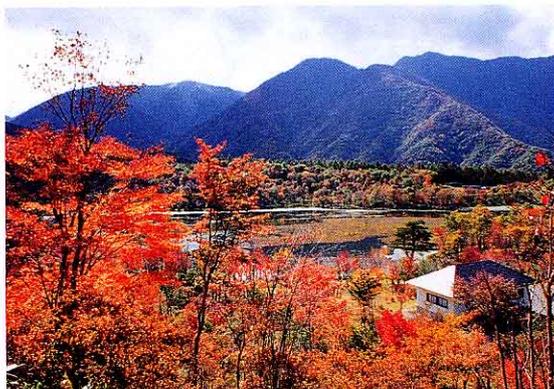
【ヌルデ】（ウルシ科）

山や野に多い落葉小木で、紅葉がたいへん美しい。ほかの木よりもはやく色づき秋を知らせてくれる。

【観音沼の紅葉】

観音沼森林公園の紅葉は、自然林と人工植栽の灌木かんぼくの紅葉で他では見れない美しさである。

森林と沼の水の色とが何ともいえない美しさを出す。



山々と沼と樹々の色合いが美しい。10月なかばころから紅葉がはじまる。

山と沼と浮き島と樹々の美しさは、何ともいえない。